

第2章

LTspiceIVの初期画面

2-1 — LTSpiceの起動

LTSpiceの起動は、次の方法で行うことができます。

- (1) デスクトップ上のLTspiceIVと命名されている、起動用アイコンをダブルクリックして起動する方法。
- (2) スタート・メニューから「すべてのプログラム」を選び、表示されるプログラムのリストからLTspiceIVを選択して起動する方法。LTspiceIVの使用頻度が多くなると、スタート・メニューにもLTspiceIVが表示されます。そのときは、スタート・メニューのLTspiceIVを選択して、起動することができます。
- (3) エクスプローラなどで表示された、ascのエクステンションをもつ、LTspiceの回路図ファイルをダブルクリックして起動する方法。

LTspiceIVを起動すると、**図2-1**に示すLTspiceIVの初期画面が表示されます。

2-2 — LTspiceIVの初期画面とメニューに用意されている機能

LTspiceIVの初期画面のメニュー・バーには、この初期画面で利用できる、四つの項目が表示されています。ツール・バーには多くの項目が用意されていますが、初期画面で利用できる5個以外は、グレーの表示になっています。メニュー・バー、ツール・バーはそれぞれ利用状況や作業状況に応じて、適切なものに変化し、使いやすいものになっています。

この初期画面では、次の**図2-2**に示す処理が行えます。

● メニュー・バー File

図2-2に示すように、新規ファイルの作成とファイルのオープン，プリンタの設定などが用意されています。また使用したファイルの履歴も表示されます。

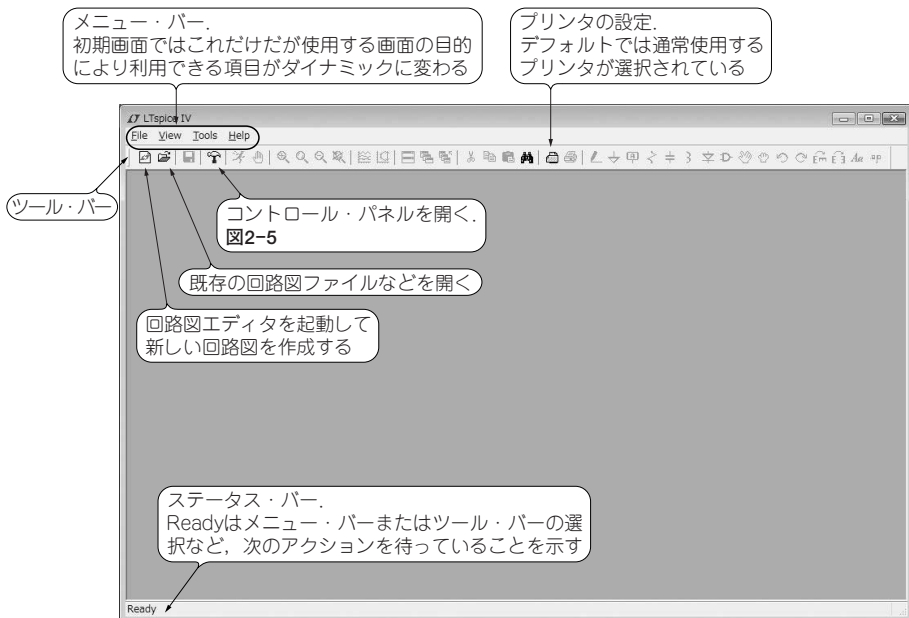


図2-1 LTspiceIVの初期画面

メニュー・バーとツール・バーにはこの初期画面で利用できるものだけが表示されている。利用できない機能はグレー表示となっている。

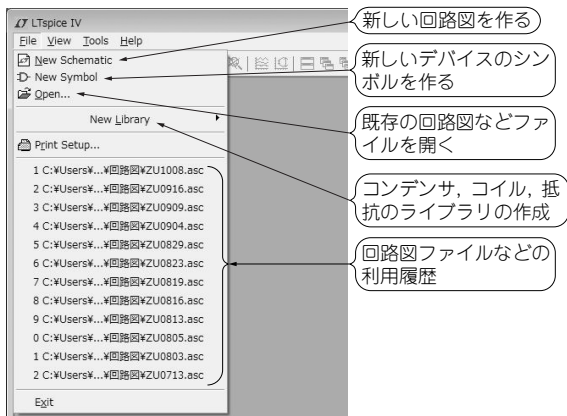


図2-2

初期画面メニュー・バーFileの内容